

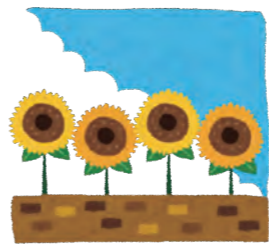
第2回定例議会

審議された案件

報告された案件

次の案件はいずれも報告どおり承りました

- 3年度公益財団法人筑後川昇開橋観光財団事業報告及び決算並びに4年度公益財団法人筑後川昇開橋観光財団事業計画及び予算等の報告
- 3年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書報告



次の案件はいずれも提案どおり承認されました

- 専決処分承認 (大川市税条例等の一部改正)
 - 専決処分の承認 (大川市国民健康保険条例の一部改正)
 - 専決処分の承認 (4年度一般会計補正予算(第1号))
- 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業(ひとり親世帯分及びひとり親世帯分)にかかる経費。

次の案件はいずれも提案どおり可決されました

- 工事請負契約の締結 (旧大川中学校解体工事)
- 財産の取得 (消防ポンプ自動車)

委員会審査

総務委員会

付託された案件はいずれも提案どおり可決されました

大川市手数料条例の一部改正

証明書発行手数料等について、住民票の写し等のオンライン申請及びコンビニ交付の導入に伴う受益者負担の適正化のため、手数料の額を引き上げるとともに、マイナンバーカードの取得促進やDX推進を図る観点から、オンライン申請等にかかる手数料については、地方公共団体の手数料の標準に関する政令に定められている一部を除き、100円を控除するため、必要な改正を行うものです。



問 関連として、マイナンバーカードの交付率が低い理由は、

答 必要に迫られていない市民がたくさんおられると思われる。今後、カードを作りやすい環境づくりに努めていきます。

意見 オンライン詐欺等から市民の財産を守るための対策や相談窓口の設置等についても周知を図る必要がある。

4年度一般会計補正予算 (第2号)

3億6千745万2千円を増額
予算総額173億1千60万1千円
今回の補正の主なものは次のとおりです。

- 総務費 公式LINE追加機能開発業務委託料3千万円、国県支出金等過年度分返還金6千267万8千円
- 民生費 住民税均等割のみ課税世帯臨時特別給付金事業5千78万3千円、生活支援バス購入費416万6千円、子育て世帯応援給付金事業1千305万3千円

要望 小学校で雨漏り修繕の必要な箇所が多々ある。常時雨漏りしている箇所については早期解決していただきたい。

問 生活支援バス購入にあたり、現在の状況は。

答 現在、市では生活支援バスを6台保有しており、今回は14人乗りバスを購入予定です。
※補足

本市の生活支援バスは1日3ルートを巡回しています。コロナ禍で密を避けるため、利用者が多いときは、1ルートを2台で運行していますが、現在、乗車できない方が出てきている状況のため、さらに1台バスを購入するものです。

問 風呂困窮者の支援の状況は。
答 登録者は約30人で、利用は1日当たり10人程度です。

総務委員会による審査風景



バーカードによる本人確認が必要なサービス、クレジットカード等を読み込んだ決済機能を追加することにより、支払いについては申請から決済まで、施設利用については予約から決済までをLINE上で行うことができるよう、官民連携して取り組んでいきます。

- 衛生費 健康福祉センター公衆無線LAN環境整備事業等325万4千円、新型コロナウイルスワクチン接種事業6千973万4千円
- 農林水産業費 がんばる農業支援事業費補助金1千万円、水田農業担い手機械導入支援事業費補助金568万4千円、畜産振興総合対策事業費補助金1千555万9千円
- 商工費 プレミアム商品券発行事業補助金3千120万円、宿泊・交通事業者支援金380万円、頑張る企業支援事業費補助金450万円
- 教育費 小学校トイレ改修事業2千804万7千円、町内公民館施設整備事業費補助金1千600万円、学校給食センター賄材料費1千万円

問 公式LINE追加機能開発業務の内容は。

答 企業版ふるさと納税により、新たな情報技術の開発に活用できるよう申出がなされていることから、本年4月に開始した大川市公式LINEの現行機能に、マイナン

